

第65号 発行人 栃尾市 新潟県栃尾市 電話(代表)215番 昭和37年(1962) 4月10日発行

とちお

栃尾市の人口 (3月末日現在) 世帯数 7,488 人口 38,016人 男 18,353人 女 19,663人 今月の市税 固定資産税 第一期 都市計画税 軽自動車税 全期 納期 4月30日

昭和32年2月20日第三種郵便物認可 毎月10日発行(定価一部2円)

2億9532万6500円

市の生計費きよる ふえた産業経済費

昭和三十三年 産業経済費で十九億、市役所の人件費が十八億と増えています。前年度に比べて増減の大きいのは、市役所の人件費が十八億と増えています。前年度に比べて増減の大きいのは、市役所の人件費が十八億と増えています。前年度に比べて増減の大きいのは、市役所の人件費が十八億と増えています。

参議院と選挙

昭和三十三年四月、始めて参議院議員選挙が執行され、以後通常選挙を経て参議院と衆議院とによって構成された。この七月、第六回の参議院議員選挙が行われ、参議院の半数以上を占める参議院議員が誕生した。

参議院の性格

参議院は衆議院と並んで、憲法上の地位を有する。衆議院は二年に一度改選されるが、参議院は三年に一度改選される。参議院の任期は六年で、そのうち三年は地方区、三年は全国区から選出される。

予算案三十三議案可決

第一回市議会定例会が、さる三月十日市役所に招集され、会期を三月二十三日までの十四日間とし、この間に本会議三日間と各常任委員会の開会、昭和三十三年の当初予算案など可決して会期三日間延長し、たて二十日閉会しました。



式成人三 栃尾市第13回の成人式がさる4月3日栃尾小学校で行なわれました。会場に集まった成人者は約600名の多数であつて久しぶりの顔合せも見え、つつみきれない嬉しさを語りあつていました。

昭和三十三年の当初予算案は、前年度に比べて増減の大きいのは、市役所の人件費が十八億と増えています。前年度に比べて増減の大きいのは、市役所の人件費が十八億と増えています。

昭和三十三年の当初予算案は、前年度に比べて増減の大きいのは、市役所の人件費が十八億と増えています。前年度に比べて増減の大きいのは、市役所の人件費が十八億と増えています。

健全財政を堅持

災害の早期復旧も 栃尾市長 千野 勝 司

36年の交通白書

栃尾署管内 七日間に一件発生

国民年金問題

準母子世帯にも年金がもらえるか?

編集後記

紙面の都合により公民館だよりを今月はやめました。

昭和37年度新潟県栃尾市歳入歳出予算一覽表 (歳入)

款別	本年度予算額	前年度に比し増減(△印減)
①市税	100,184	33.92
②地方交付税	88,000	29.80
③公債	211	0.07
④公債利息	7,725	2.62
⑤国庫補助金	4,491	1.52
⑥国庫補助金	57,949	19.62
⑦国庫補助金	3,020	1.02
⑧国庫補助金	1,173	0.40
⑨国庫補助金	13,360	4.52
⑩国庫補助金	7,463	2.53
⑪国庫補助金	11,750	3.98
⑫国庫補助金	295,326	100.00

昭和37年度新潟県栃尾市歳入歳出予算一覽表 (歳出)

款別	本年度予算額	前年度に比し増減(△印減)
①市費	8,644	2.93
②市費	54,811	18.56
③市費	8,924	3.02
④市費	28,877	9.78
⑤市費	66,032	22.36
⑥市費	40,302	13.65
⑦市費	8,532	2.89
⑧市費	56,391	19.09
⑨市費	3,842	1.30
⑩市費	303	0.10
⑪市費	1,017	0.34
⑫市費	6,220	2.11
⑬市費	10,426	3.53
⑭市費	1,000	0.34
⑮市費	295,326	100.00

昭和37年特別会計予算 (単位千円)

会計別	本年度予算額	前年度に比し増減(△印減)
公債	1,504	434
養老	2,535	70
養老	50,996	73,834
養老	21,145	52,224
養老	82,592	23,396
養老	59,196	4,906
養老	158,773	185,177

市税収入は三十三%

国庫支出金二千五百萬円の増

市税収入は三十三%

国庫支出金二千五百萬円の増

市税収入は三十三%

国庫支出金二千五百萬円の増

市税収入は三十三%

国庫支出金二千五百萬円の増